



# 高西小だより

学校教育目標  
夢を切り拓く  
心豊かで  
たくましい子ども

H23, 5, 10(火) 校長:古屋 N03

## 「社会性」・「コミュニケーション能力」を育てる！

連休が終わり、新緑がまぶしい季節となりました。あちらこちらの水田では、代かきの光景が見られるようになり、むらやまの里山にも本格的な春が到来しました。

さて、今日、学力問題と共に他人とのコミュニケーションがうまくとれない、協働して物事に取り組みえないという社会性の欠如が取り出されています。「社会性」を辞書で調べると、「集団を作って生活しようとする人間の根本的性質」「他人との関係など社会生活を重視する性格。また、社会生活を営む素質・能力」とあります。本来、「人間の根本的性質」として、かつては子どもを取り巻くコミュニティー社会が、自然な姿の中でその育成に大きく貢献していました。しかし、今日のような少子化や核家族化、また、ゲームや携帯電話等の情報機器の発展、そして危機管理を求める社会等によって大きく変わってきました。

多くの子どもたちが長い時間過ごす学校。今や学校は、学力を高めると共にこの「社会性」をも育てる大事な場所ともなっています。これから学校行事や各学年、縦割り班でたくさんの体験活動が行われます。子どもたちは、この中で、仲間とのつながりを大事にし、集団の中での切磋琢磨を通じて人間関係を築いていきます。そこには、思い通りにはいかない体験が多々生じてくるでしょう。それを悩み苦しみながら仲間と一緒に解決していくことが、「豊かな社会性」へとつながっていくものと思います。

スポ少や各種クラブ等での活動、育成会や子どもクラブでの取り組みも「社会性」を身に付けることのできる大事な活動です。各地域やご家庭においてできる取り組みをしていただくと同時に、今後も、学校の様々な教育活動にご支援とご協力をよろしくお願い致します。

## 12年目をむかえた稲作！5年生の米づくりが始まりました！

本校の水田を利用した本格的な米作りは、私が西小に勤務していた11年前に山本林仁さんから「子どもたちに米作りをさせませんか」というお話をいただいたのがきっかけでした。それ以来、毎年、講師としてお力添えをいただき、子どもたちに多くの感動と知恵を与えてくださっています。

今、食教育や食の安全性が叫ばれていますが、子どもたちにとって、この米作りの体験が、将来に渡り、自らの生活を豊かにする一助になっていることは間違えありません。今後も、この米づくりを通して、日本の農業は水田を中心とした里山を守りながら、「私たちは、生きるために、命をいただいて、命をつないでいる」ことを体験を通して学んで欲しいと思います。

### 稲作あれこれ

現在、よく発芽する丈夫な良い籾（もみ）を選ぶため、「**塩水選**」という方法が用いられています。比重1.13程度がよいとされ、生タマゴが浮きます。この塩水の中に籾を入れて、浮いた籾を取り除き、沈んだ籾だけを稲の種として使うのです。

この方法を開発したのが、明治時代の近代農学の祖といわれる「**横井時敬**」（ときよし）です。時敬は、1860年に熊本に生まれ、東京農大初代学長や東京帝大の教授なども勤めました。

格言として今も残る言葉があります。

「**稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け。**」

「**土に立つ者は倒れず、土に生きる者は飢えず、土を護る者は滅びず。**」

### 稲の発芽には積算で100度必要！

稲の発芽までには、積算で100度の温度が必要とされています。水温が10度であれば、10度×10日、水温が20度であれば、20度×5日というようにです。我が家でも米作りをしていた頃は、みんなが入った後のお風呂の中に、大きな布の袋に入れた籾を浸し、それを数日繰り返していたのを思い出します。



土を平らにするよ。



種蒔き機だよ。回してごらん。

## 交通安全教室が行われました！（4月27日）

北杜警察署交通課の溝さんと市川さん、清里駐在所の雨宮さん、それに専門交通指導員の藤巻さんの4名に来ていただき、1～2年生が道路の渡り方や歩行の仕方、3～6年生が自転車の乗り方を指導してもらいました。ポイントを絞った丁寧な言葉かけに、交通安全への意識を高めるよい機会となりました。



声にだして確認をするよ。



手先からビームが出ているかな。



信号をよく見て進むよ。

今年度の児童会スローガン

### 「キラキラ輝く西小！」

5月2日(月)、第1回児童総会が3年生から6年生までが参加して行われました。各学級からたくさんの意見が出され、次の3つの取り組みが決まりました。

- ①「笑顔」(あいさつ運動、ボランティア活動)
- ②「学校や地域」(エコ活動、そうじ強化、ごみ拾い活動)
- ③「元気」(同好会、交流集会、縦割り班活動)

その他にも、何でも相談を受け付ける「意見箱」、学校生活をより良くする「ろう下ジーマン」の提案や委員会活動の内容も決まりました。子どもたちへの励ましとご支援をよろしくお願いします。

今年度の児童会本部役員です！よろしくお願いします！

- 会長 浅川拓海さん ○副会長 花輪 淳さん 萩原佳蓮さん
- 本部委員 鈴木志歩さん 内藤 悠さん 小澤康太郎さん 廣瀬 桂さん



議長は保坂知紀さんと古川裕貴さんでした。各委員長さんの提案もしっかりしていました。質問や提案がたくさん出ました。

## あさってから修学旅行に行ってきます！（5月11～13日）

6年生33名が修学旅行に行ってきます。1日目は、班ごとの活動計画に沿って鎌倉散策をします。2日目は、八景島シーパラダイスと日産自動車横浜工場の見学をし、途中では東京スカイツリーも遠望します。3日目は、国立科学博物館と国会議事堂、東京タワーを見学する予定です。毎年、小学校6年間の思い出ナンバー1に選ばれる修学旅行。明日は、きっと期待と興奮で眠りが浅くなってしまいう子もいることでしょう。修学旅行に行けることを感謝しながら、そして、「安全は全てに優先する」を基本に生涯にわたって心に残る修学旅行にして欲しいと思います。

スローガン

「楽しく学ぼう歴史・科学  
協力し合い深めよう友情」

